



障害者福祉に係る研修事業

～NPO法人尼崎市身体障害者連盟福祉協会～

NPO法人尼崎市身体障害者連盟福祉協会とは

【設立】 昭和28年（平成19年にNPO法人に変更）

【会員数】 27人

【目的】 尼崎市の障害者に対して、文化活動、スポーツ支援事業、障害者福祉に係る研修・広報・相談・レクレーション事業、福祉会館等公共施設の管理運営事業等を行い、障害者福祉の向上に寄与することを目的とする。

【事業】 ○文化・スポーツ事業 ○研修事業
○広報事業 ○施設管理運営事業
○市内障害者団体との緩やかな連携

「障害者福祉に係る研修事業」について

【内容】 地域住民と様々な障害を有する者がともに、学校や体育館の図面を用いて受付や通路の取り方、障害者への配慮など避難所の運営をシミュレーションし、適切に運営できるかどうか模擬体験を行った。

【日程】 令和元年11月10日(日)

【場所】 尼崎市身体障害者福祉会館 大ホール

【広報】 公共施設・関係団体へのチラシ掲示
地域市民へのポスティング など

【対象者】 連盟(会員)、市民 など

【参加者数】 82人
(視覚障害者42人、その他地域住民等40人)

「障害者福祉に係る研修事業」について

【実施目的】

近年多発する災害において、身障連と地域住民が「避難所運営」というテーマで共に考え話し合い、お互いの立場を理解し合い、支え合えるように繋げていく。



研修の様子



避難所シミュレーション
資料

「障害者福祉に係る研修事業」について

【効果】

避難所運営シミュレーションを通して、「災害時要援護者の立場で考える避難所とは」のテーマとしてグループに分けて、障害当事者と共に多くの障害について、それぞれの立場で意見などを話し合いました。それぞれの立場の問題を知り、配慮についても理解が深まったと思います。そして、もし災害が起こった時に、配慮についての行動に繋げることができるのではないかと思います。